



# 進路通信

西濃高等特別支援学校

進路指導部

第4号：令和6年1月25日（木）

## 卒業生と語る会 ～先輩たちを目標に～

西濃高等特別支援学校は開校して約6年。今回は卒業した1期生から3期生の学年から、それぞれ1名を招き、卒業生と語る会を実施しました。

最初は昨年度の卒業生、矢野先輩（西濃運輸）の発表でした。流通業の難しさや多くの人とのコミュニケーションの取り方の工夫、休日の過ごし方等を話していただきました。フォークリフトをスムーズに運転する動画に驚いた人もいたのではないのでしょうか。彼は、職場で社員の方、他社のドライバーの方と本当に上手にコミュニケーションをとりながら仕事をしています。在校生の皆さんも、年代の違う人と積極的に話す練習を実習等で積み重ねていくといいと思います。



2番手は2期生の古川先輩（中部NL）の発表でした。古川先輩もフォークリフトの免許を就職1年目に取得し、2種類のフォークリフトを使いこなしているという説明をしてくれました。また、製品を傷つけないために、丁寧に取り扱っていることや、他の社員の方とコミュニケーションをとるために、自分の好きな鉄道を休憩スペースに掲示し話題にしているという話もありました。社会人となり、在学中よりも積極的に行動するというお手本のような発表でした。



最後は1期生の上田先輩（クラレプラスチック）の発表でした。1番驚いたのは、周りの人の様子を見ながら、大変そうな人のお手伝いに行ったり、自分が大変な時は助けを求めたりしていることでした。発表にもありましたが、本校に入学した頃は、コミュニケーションが苦手で、自分から話しかけたりすることが得意ではありませんでしたが、在学中からコツコツ努力を重ね、自分を成長させてきた成果が出ていると感じました。また、ストレスの発散方法や貯金の話もとても勉強になりました。



皆さんは、今回の卒業生と語る会でどのようなことを学びましたか。3年生はあと3か月もすれば社会人になっています。今回の先輩たちの話を参考に入社してほしいと思います。1・2年生の皆さんも、今回の3人の先輩たちのように、自分らしく、社会に出て行くという目標や希望をイメージできたのではないのでしょうか。先輩たちの発表から在校生の皆さんが将来の自分を少しでもイメージして、目標を定め、そこへ向かって努力することができたならば、この会を行った意味がより大きくなります。ぜひ、先輩たちを目標に日々の生活に取り組んでいってください。

